



所蔵資料紹介 ～卷子本(復刻版)から～

『君臺觀左右帳記』(東京美術,1981年)より「三具足」

いけ花コース1年生の皆さん、星優也先生の「花伝書概説」(前期)で取り上げられた『君臺觀左右帳記』を覚えていますか? 三具足、座敷の棚飾りについての内容で、華道にとって重要な文献を紹介しますので他コースの皆さんも最後までお読みください。

『君台観左右帳記』とは主君の会所の書院飾りの方法、つまり將軍様のおもてなし部屋の飾り付けマニュアル、という意味になります。「花伝書の母胎」、「茶道名物記の濫觴」、「香道書の第一」とも言われており、華茶香の原点とされています*1。内容は中国の画家の人名録、座敷飾の方法、その飾りに用いる器物の説明が基本ですが、原本がなく、また一部分のみの写本も数多くあり、能阿弥とその孫である相阿弥が執筆した2系統に大別されます。能阿弥本は群書類従本、相阿弥本は東北大学本が代表的な写本で、東北大学本は現存する最古の写本になります。

講義で扱われた東北大学本には仏前に供える花、香、灯明に用いる3つの道具である花瓶、香炉、燭台、すなわち三具足の置き方について「飾次第」という標題で説明があります。ただし三具足の絵図はなく、皇室博物館版も同様ですが、群書類従の「御飾記」には絵図があります。東北大学本と皇室博物館版は説明と棚飾の絵図、当館所蔵資料と群書類従からは三具足の絵図を展示しています。

テキストとして使用された『古代中世藝術論』には図版と説明が見開き頁に圧縮されて掲載されているため、掲載順序がわかりにくいのですが、展示している東北大学本は卷子本(復刻)を長く展示しているため順序よく見ることができます。また、それぞれの写本の文字や絵図の違いにも特徴があっておもしろいので、ぜひ見比べてみてください。



星先生から一言：いけばなにも関係する座敷飾について書かれた基本文献です。後期の「いけばなの歴史」ではさらに深く掘り下げますので、楽しみにしててください。

展示資料:

- ・『君臺觀左右帳記』(花傳書原典叢観 3) 東京美術,1981年
- ・『君臺觀左右帳記』 皇室博物館,1932年
- ・『君臺觀左右帳記・御飾記』(群書類従 巻361 遊戯部4) [大永3年]
- ・『君臺觀左右帳記』 [大永3年]

参考資料:

- ・『君台観左右帳記の総合研究』P11,勉誠出版,1999年 *1
- ・『君臺觀左右帳記・花一道・座敷のかさり「君台観」所收解説本』(花傳書原典叢観 3) 東京美術,1981年
- ・『古代中世藝術論』(日本思想大系 23) 岩波書店,1973年

学生からのおすすめ図書の紹介 ～製菓クリエイトコース(1年生)～

タイトルや始めの文を少し読み進めると、夜になると子どもがバケモノになるという一見ファンタジーな小説で

すが中学生など思春期ならではの悩み、一体何が本当の自分であるのか、自分の本当にやりたいことは何なのかなどを考えさせられる本です。また他者からみたイジメを傍観している側の人間についても色々な方面からの考えがあって悩まされます。非現実的ではあるようでリアルな話なのですごく読みがいがあると思います。(飯野日和)



住野よる/著
『よるのばけもの』
(00063175/913.65-ス)

西尾維新による推理小説のシリーズ本です。寝ることで記憶がリセットされ忘れてしまう主人公掟上今日子が自分が寝てしまうまでの時間で事件を解決していくというストーリーです。一日という期限があるためスピード感あるストーリーと、記憶がない探偵という個性的な主人公にひきつけられていきます。この小説はドラマ化もされているため小説が苦手な人はぜひドラマから入り小説も読んでみて下さい。

(山本千華)

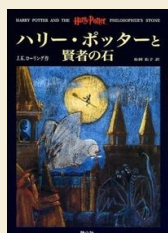


西尾維新/著
『掟上今日子の備忘録』
(10月末に入る予定です)

～国際経営情報コース(1年生)～

ハリーポッターといえば多くの人々は劇場版を鑑賞されると思う。しかし映画では再現されなかったシーンや映画のシーンをより詳しく知りたい人にぜひハリポタの始まりの賢者の石を薦めたい。映画でハリーが最初に会った同学年はロン・ウィーズリーだったが実は小説では違ったり、聞きなじみのある呪文が沢山出てきたり読み進めていくうちにどんどん魔法界の世界に入り込めて楽しい作品なので是非薦めたい。

J.K. ローリング作・松岡佑子訳
『ハリー・ポッターと賢者の石』
(沼空沙)
(00024275/933-ロソ-1)



花と寺社～藤袴と大原野神社～

京都市西京区の小塩山の麓にある大原野神社では、秋の七草の一つである藤袴が見頃を迎えています。前号で紹介した万葉集の歌にも登場し、「源氏物語」30帖「藤袴」の和歌にも詠まれ親しまれてきた花ですが、現在は「準絶滅危惧種」に指定されるほど激減してしまいました。その貴重な原種が大原野の地域で発見され、地元の人々が保全に取り組んでいます。藤袴の葉を乾燥させるとコマリンの香り=桜餅の葉のよい香りがするため、昔から入浴剤にしたり、匂い袋にして身につけていました。

大原野神社は藤原氏の氏神である春日大社の神様を勧請しています。源氏物語の29帖「行幸」では冷泉帝が華やかな行列で大原野神社に御幸する様子が描かれ、また紫式部が越前(福井県)に住んでいた際には、都を懐かしみ小塩山を歌に詠むなど式部とゆかりの深い場所となっています。

参考文献・URL

- ・大原野神社由緒書
- ・大原野神社HP <https://oharano-jinja.jp/>
- ・環境省HP <https://www.env.go.jp/press/107905.html>
- ・『源氏物語 3』(新編 日本古典文学全集 22) 小学館,1996年

